



社会の変化を先取りし、企業と消費者のよりよい関係を目指す

一般社団法人日本ヒューブ協議会

代表理事

宮木 由貴子氏

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

二〇一七年度、当協議会は「三位一体で描く消費環境デザインー消費者・企業・行政で紡ぐ次世代の消費社会ー」をテーマに、会員各社の消費者志向経営と男女共同参画に裨益するべく、会員のスキルアップとネットワーク形成に努めてまいりました。

今年度は内閣府との共催シンポジウムを複数回（関西支部・九州

支部）実施した他、十二月には東京で「二十一世紀の消費社会と男女共同参画をふり返るー女性視点は企業をどう変えてきたのかー」についてシンポジウムを実施しました。私たちはこうした活動を通じ、関連行政機関との連携を強めつつ、消費者に向けた情報発信を行っています。また、今年9月に設立四十周年を迎えるにあたり、今後十年を考えるシンポジウム（九月七日）を予定しています。

複雑化・多様化する社会において、消費者志向と持続可能な社会構築の視点は不可欠です。

社会の変化を先取りし、企業と消費者のよりよい関係と消費環境の構築に向けた提言を行うべく、本年も一層努力して参ります。変わらぬご支援をいただきましたら幸いです。

